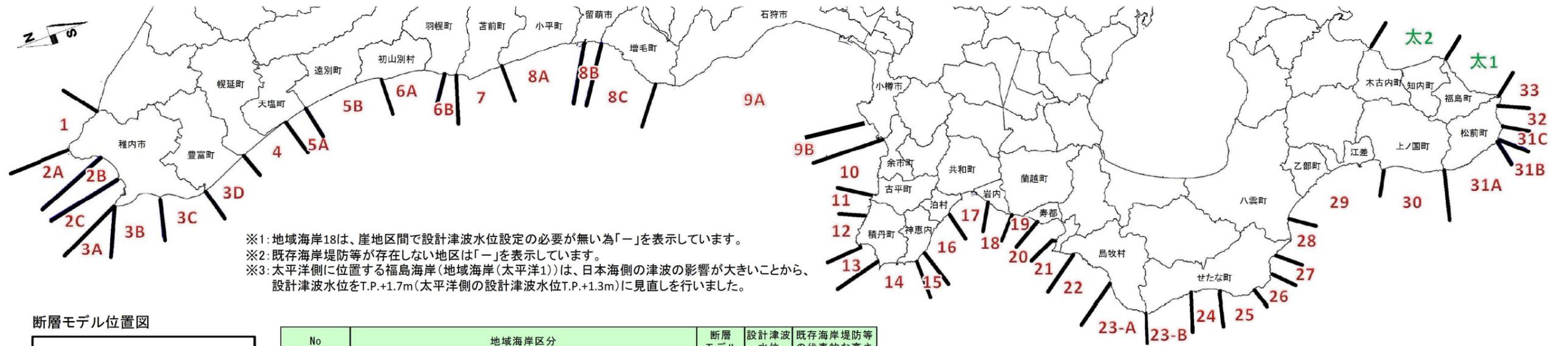
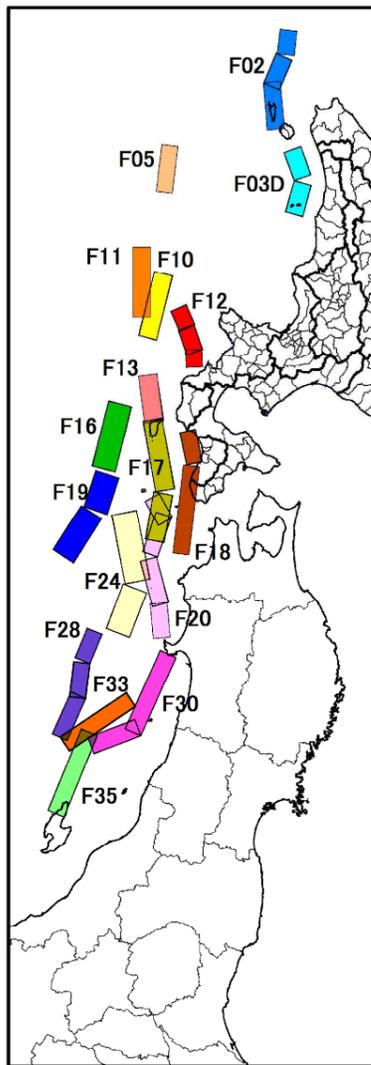


設計津波水位一覧

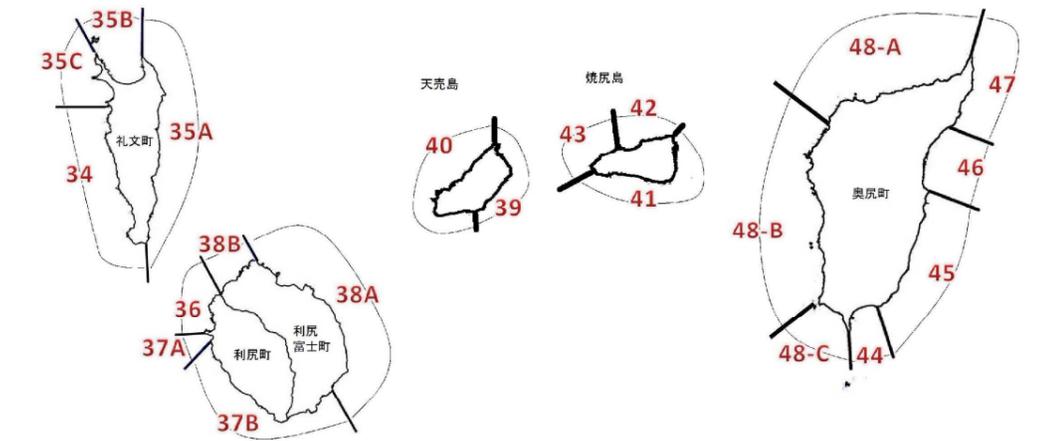


※1: 地域海岸18は、崖地区間で設計津波水位設定の必要が無い為「-」を表示しています。
 ※2: 既存海岸堤防等が存在しない地区は「-」を表示しています。
 ※3: 太平洋側に位置する福島海岸(地域海岸(太平洋1))は、日本海側の津波の影響が大きいため、設計津波水位をT.P.+1.7m(太平洋側の設計津波水位T.P.+1.3m)に見直しを行いました。

断層モデル位置図

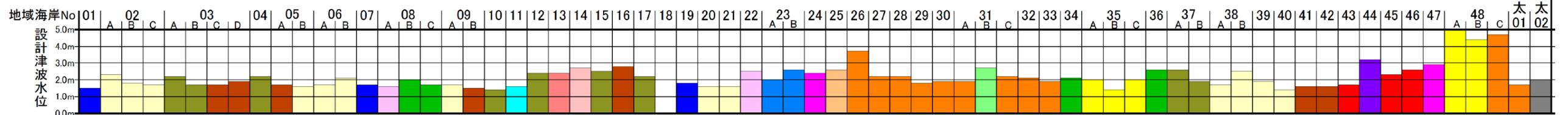


No	地域海岸区分	断層モデル	設計津波水位	既存海岸堤防等の代表的な高さ
1	1 稚内海岸 東浦地区 ~ 大岬地区 宗谷岬	F19	1.5m	3.2m
2	2-A 稚内海岸 大岬地区 宗谷岬 ~ 富磯地区(増幌川河口)	F24	2.3m	3.1m
	2-B 稚内海岸 富磯地区(増幌川河口) ~ 声間地区	F24	1.8m	4.3m
	2-C 稚内海岸 声間地区 ~ 潮見地区	F24	1.7m	4.6m
	2-D 稚内海岸 潮見地区 ~ 野寒布地区	F17	2.2m	2.9m
3	3-A 稚内海岸 野寒布地区 ~ 抜海地区	F17	1.7m	3.6m
	3-B 稚内海岸 抜海地区 ~ オネトマナイ地区	F18	1.7m	3.4m
	3-C 稚内海岸 豊富海岸 稚咲内地区 ~	F18	1.9m	- ※2
	3-D 豊富海岸 稚咲内地区 ~	F18	1.9m	- ※2
4	4 幌延海岸 ~ 天塩川河口	F17	2.2m	4.5m
5	5-A 天塩川河口 ~ 天塩海岸 浜東岸海岸	F18	1.7m	5.0m
	5-B 遠別海岸 ~ 初山別海岸 豊岬地区	F24	1.6m	4.4m
6	6-A 初山別海岸 豊岬地区 ~ 羽幌海岸 羽幌川河口	F24	1.7m	6.5m
	6-B 羽幌海岸 羽幌川河口 ~ 羽幌海岸 栄町地区	F24	2.1m	3.4m
7	7 苫前海岸 ~	F19	1.7m	5.2m
8	8-A 小平海岸 ~ 留萌海岸 大町地区	F20	1.6m	6.3m
	8-B 留萌海岸 大町地区 ~ 留萌海岸 札受地区	F16	2.0m	5.0m
	8-C 留萌海岸 札受地区 ~ 増毛海岸 日方治地区	F16	1.7m	9.1m
9	9-A 増毛海岸 クズレ地区 ~ 小樽海岸 塩谷1丁目地区	F24	1.7m	4.6m
	9-B 小樽海岸 塩谷1丁目地区 ~ 余市海岸	F18	1.5m	4.0m
10	10 余市海岸 ~ 古平海岸 御崎地区	F17	1.4m	4.4m
11	11 古平海岸 群来地区 ~ 積丹海岸 浜婦美地区	F03D	1.6m	6.2m
12	12 積丹海岸 浜婦美地区 ~ 積丹海岸 黒松内地区	F17	2.4m	4.9m
13	13 積丹海岸 泊地区 ~ 積丹海岸 余別地区	F13	2.4m	4.7m
14	14 積丹海岸 草内地区 ~ 神恵内海岸 ノット地区	F05	2.7m	6.8m
15	15 神恵内海岸 川白地区 ~ 神恵内海岸 珊瑚地区	F17	2.5m	6.0m
16	16 神恵内海岸 珊瑚地区 ~ 泊海岸 釜地区	F18	2.8m	5.9m
17	17 泊海岸 泊地区 ~ 岩内海岸 敷島内地区	F17	2.2m	4.4m
18	18 岩内海岸 敷島内地区 ~ 蘭越海岸 能津登地区	- ※1	-	6.6m
19	19 蘭越海岸 能津登地区 ~ 寿都海岸 横洞地区	F19	1.8m	6.8m
20	20 寿都海岸 横洞地区 ~ 寿都海岸 大磯地区	F24	1.6m	4.4m
21	21 寿都海岸 大磯地区 ~ 島牧海岸 歌島地区	F24	1.6m	4.1m
22	22 島牧海岸 美川地区 ~ 島牧海岸 元町地区	F20	2.5m	6.7m
23	23-A 島牧海岸 原歌地区 ~ 島牧海岸 栄浜地区	F02	2.0m	6.4m
	23-B 瀬棚海岸 須巻地区 ~ 瀬棚海岸 梅花都地区	F02	2.6m	6.1m
24	24 瀬棚海岸 三本杉地区 ~ 北檜山海岸 川尻地区	F30	2.4m	7.4m
25	25 北檜山海岸 太櫓地区 ~ 大成海岸 太田地区	F11	2.6m	7.1m
26	26 大成海岸 太田地区 ~ 大成海岸 都地区	F33	3.7m	7.0m
27	27 大成海岸 都地区 ~ 大成海岸 平浜地区	F33	2.2m	7.4m
28	28 大成海岸 貝取瀬地区 ~ 熊石海岸 鮎川地区	F33	2.2m	7.6m
29	29 熊石海岸 鮎川地区 ~ 上ノ国海岸 大崎地区	F33	1.8m	6.3m
30	30 上ノ国海岸 大崎地区 ~ 上ノ国海岸 小砂子地区	F33	1.9m	6.7m
31	31-A 松前海岸 神山地区 ~ 松前海岸 館浜地区	F33	1.9m	8.2m
	31-B 松前海岸 館浜地区 ~ 館浜漁港西岸トノマ岬	F35	2.7m	5.5m
	31-C 館浜漁港西岸トノマ岬 ~ 松前海岸 建石地区	F33	2.2m	7.7m
32	32 松前海岸 弁天地区 ~ 松前海岸 荒谷地区	F33	2.1m	5.8m
33	33 松前海岸 荒谷地区 ~ 松前海岸 白神地区	F33	1.9m	6.2m



単位:T. P. (m)

No	地域海岸区分	断層モデル	設計津波水位	既存海岸堤防等の代表的な高さ
34	34 礼文海岸 西上泊地区 ~ 礼文海岸 知床地区 会津ノ崎	F16	2.1m	5.0m
35	35-A 礼文海岸 知床地区 会津ノ崎 ~ 礼文海岸 弁財泊地区	F10	2.0m	4.2m
	35-B 礼文海岸 船泊地区 ~ 礼文海岸 須古頓地区(スコトン岬)	F10	1.4m	4.7m
	35-C 礼文海岸 須古頓地区(スコトン岬) ~ 礼文海岸 鉄府地区	F10	2.0m	5.8m
36	36 利尻海岸 栄浜地区 ~ 利尻海岸 富士見地区(沓形岬)	F16	2.6m	4.7m
	37 利尻海岸 富士見地区(沓形岬) ~ 利尻海岸 泉町地区	F17	2.6m	6.5m
37	37-A 利尻海岸 泉町地区 ~ 利尻海岸 金崎地区	F17	1.9m	5.8m
	38 利尻海岸 金崎地区 ~ 利尻海岸 富士野地区	F24	1.7m	4.8m
38	38-A 利尻海岸 富士野地区 ~ 利尻海岸 大磯地区	F24	2.5m	3.4m
	39 天売島 相影地区 ~ 天売島 弁天地区	F24	1.9m	4.4m
40	40 天売島 千鳥ヶ浦地区 ~ 天売島 相影地区	F24	1.4m	- ※2
41	41 焼尻島 白浜地区 ~ 焼尻島 東浜地区	F18	1.6m	4.4m
42	42 焼尻島 豊崎地区 ~ 焼尻島 西浦地区	F18	1.6m	4.9m
43	43 焼尻島 西浦地区 ~ 焼尻島 白浜地区	F12	1.7m	- ※2
44	44 奥尻島 青苗地区(青苗岬) ~ 奥尻島 松江地区	F28	3.2m	11.0m
45	45 奥尻島 松江地区 ~ 奥尻島 赤石地区	F12	2.3m	10.8m
46	46 奥尻島 赤石地区 ~ 奥尻島 球浦地区	F12	2.6m	5.4m
47	47 奥尻島 球浦地区 ~ 奥尻島 稲穂(稲穂岬)	F30	2.9m	9.0m
48	48-A 奥尻島 稲穂(稲穂岬) ~ 奥尻島 湯浜地区(幌内川河口)	F10	5.0m	9.1m
	48-B 奥尻島 湯浜地区(幌内川河口) ~ 奥尻島 米岡地区(群来岬)	F10	4.4m	6.6m
	48-C 奥尻島 米岡地区(群来岬) ~ 奥尻島 青苗地区(青苗岬)	F33	4.7m	4.5m
1	太平洋1 福島海岸	F33	1.7m ※3	4.5m
2	太平洋2 知内海岸 ~ 木古内海岸	三陸沖北部	2.0m	4.5m



「地域海岸における適用断層モデルと設計津波水位」

「北海道日本海沿岸の設計津波水位検討委員会」委員名簿及び開催経緯

○検討委員名簿

委員長	山下 俊彦	: 北海道大学大学院工学研究院教授
委員	谷岡 勇市郎	: 北海道大学大学院理学研究院教授
委員	木村 克俊	: 室蘭工業大学大学院工学研究科教授
委員	浜本 聡 第1回委員会	: (独)寒地土木研究所寒地水圏研究グループ長
委員	船木 淳悟 第2回、第3回委員会	: (独)寒地土木研究所寒地水圏研究グループ長
委員	岡崎 紀俊	: (独)北海道立総合研究機構地質研究所主幹

○開催経緯

第1回委員会	: 平成27年10月20日開催
第2回委員会	: 平成28年11月29日開催
第3回委員会	: 平成29年3月29日開催